

## 大東法学政治学科新設記念号の発刊に寄せて

法学部長 町井和朗

法学部は昭和四十八年の創設以来、法律学科のみの片肺飛行を続けてきた。懸案だった政治学科の平成二年の新設により、ここに法学部の両輪が揃ったことになる。

法学、政治学の本質についてはいろいろな考えがあるが、私はこれら両学問は、共に平和学だと考えている。人類の至福にとって平和がその最低限の要件であることは論をまたないところだろう。法学部に平和の両輪が揃ったことは、学問的にも実践的にも法学部の将来に明るい展望を開くものと期待している。

大東法学政治学科新設記念号は、新設政治学科が最初に世に問うその成果である。新任の諸先生方の大半が執筆され、その論題も政治学の広い領域に及んでいる。私たちは政治学科に、可能な限りでベストの人材を網羅したと自負している。この記念号をもって学界の評価を仰ぎたい。御批判、御鞭撻の待たれるところである。

平成三年十一月二十一日